



testo 625
温湿度計

取扱説明書

目次



はじめに	1
1. 安全上のご注意	2
2. 機能の概要	3
3. 製品説明	4
3.1 ディスプレイおよび各部機能	4
3.2 インタフェース	5
3.3 電源供給	5
4. 計測器の準備	6
5. 操作	7
5.1 プローブの接続	7
5.2 電源のオン/オフ	7
5.3 ディスプレイライトのオン/オフ	8
5.4 設定操作	8
6. 計測	11
7. メンテナンス	12
8. トラブルシューティング	13
9. テクニカル・データ	14
10. アクセサリ/スペア・パーツ	15

本説明書の一部または全部をテスト社の事前の許可なしで、転載、複製することを禁じます。

本説明書の内容は、機能向上のため予告なく変更することがあります。

Microsoft、Windows、Excel、インターネット・エクスプローラ等は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。


はじめに

testo625温湿度計をご購入いただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。
この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使ってください。

本章ではまず、この取扱説明書で使用している各種の記号や表記方法について説明します。

記号について

この説明書で使用している記号の意味は次の通りです。

記号	意味	説明
i	重要情報	取り扱い上の注意や重要事項に関する情報です。
「文字」	ディスプレイ表示	計測器のディスプレイ上に表示される文字を表します。
 文字	コントロール・ボタン	このボタンを押すことを示します。

1. 安全上のご注意

この章では、計測器を安全にお使いいただくため、遵守いただきたい各種の注意事項について説明します。

感電の回避/計測器の保護:

- ▶ 通電部品の上あるいは側で計測器とプローブによる計測を絶対に行わないでください。
- ▶ 計測器やプローブを溶剤（例えばアセトンなど）と一緒に保管しないでください。また、乾燥剤を使用しないでください。

安全な取り扱い/保証条件の遵守:

- ▶ テクニカル・データに記載されている限度内の計測にご使用ください。
- ▶ この取扱説明書に記載されている注意事項をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ▶ 無理な力を加えないでください。
- ▶ 温度の計測範囲データはセンサにのみ適用されます。ハンドルやケーブル類は、特に表記がない限り70℃以上の温度下で使用しないでください。
- ▶ 取扱説明書に記載されているメンテナンスのため以外、計測器を開いたり、分解しないでください。
- ▶ 取扱説明書に記載されている事項を守ってメンテナンスや修理を行ってください。また、テストー純正部品を必ずご使用ください。取扱説明書に記載されている以外の修理等の作業は、テストー社の技術員に行わせてください。テストーの技術員以外が行った場合、機能の正常動作や計測性能に関する責任をテストーが負わない場合があります。

環境の保護:

- ▶ 使用済み電池を廃棄するときは、所管自治体の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。
- ▶ 本製品を廃棄するときは、所管自治体の電子部品あるいは電子製品の廃棄方法の定めに従って処分してください。

2. 機能の概要

この章では、製品の機能概要と適用分野について説明します。

本計測器を本来の設計目的以外の計測に使用しないでください。

testo625は、プラグイン方式の湿度/温度プローブ（湿度モジュール）および無線方式（無線モジュールが必要）の湿度/温度プローブにより温度と湿度の計測が可能な、コンパクト温湿度計です。

本製品は次のような領域の温度/湿度計測に最適です。

- ・室内環境の計測
- ・ビル、オフィス、保管庫などの温湿度計測

次のような計測に本製品を使用しないでください。

- ・爆発の危険がある場所での計測
- ・医療目的のための体温計測

3. 製品説明

この章では、製品の各部名称とその機能について説明します。

3.1 ディスプレイおよび各部機能

概観






- ① プローブ・ソケット
- ② ディスプレイ
- ③ コントロール・ボタン
- ④ バッテリ・ボックス、
- ⑤ 無線モジュールおよびサービス・ボックス (裏面)

ボタン機能

ボタン	機能
	電源のオン・オフ(長押し時)
	ディスプレイ・ライトのオン/オフ
	計測値のホールド、最高値/最低値の表示
	機器設定モードのオープン/クローズ(長押し時) 入力の確定(機器設定モード時)
	オプションの選択、値の増加(機器設定モード時)
	相対湿度/露点/湿球温度の表示切り替え
	プラグイン方式プローブと無線プローブの計測表示切り替え(が点灯)
	オプションの選択、値の減少(機器設定モード時)

重要なディスプレイ表示

ディスプレイ	意味
	バッテリー残容量(ディスプレイ画面の右下に表示されます) ・セグメント(黒い縦線)4つが点灯: バッテリーはフル ・セグメント(黒い縦線)がすべて消灯: バッテリーはほとんど空
	計測チャンネル表示: 無線プローブ(波線は電波の強さを表し、線の数が多いほど電波が強いことを示します)
	無線プローブのバッテリー残容量(無線プローブ記号の上部に表示されます): 無線プローブバッテリーはほとんど空

3.2 インタフェース

プローブ・ソケット

温度計の頭部にあるプローブ・ソケットには、プラグイン方式の温湿度プローブ・ヘッド(製品型番: 0636.9725)が装着されています。(一体型温湿度計)

プローブ・ヘッドとソケットの間をハンドル付き専用ケーブル(製品型番: 0430.9725、別売)で接続すれば、プローブ・タイプ温湿度計としても使用できます。

無線モジュール(アクセサリ)

無線モジュールを介して、無線プローブが接続できます。

- i** 無線モジュール/無線プローブは、型式認定を取得した国においてのみ、使用が可能です。(日本国内では使用できません。)

3.3 電源供給

温度計の電源は、9Vブロック型電池(製品に同梱)、あるいは充電式バッテリーです。

ACアダプタは使用できません。また温度計で充電式バッテリーの充電は行えません。

4. 計測器の準備

この章では、計測器を使用する前の各種準備作業について説明します。

保護フィルムの除去

ディスプレイ画面に付いている保護フィルムを慎重にはがして取り去ります。

無線モジュール(別売アクセサリ)

■ 無線モジュール/無線プローブは、型式認定を取得した国においてのみ、使用が可能です。(日本国内では使用できません。)

- 1 計測器の電源を切ります。
- 2 計測器裏面の無線モジュール・ボックス・カバーのクリップ・ロックを下側に押しながら手前に引いて、カバーを取り外します。
- 3 無線モジュールを挿入(装填)します。
- 4 無線モジュール・ボックスのカバーを閉じます。

バッテリー/充電式バッテリーの挿入

- 1 計測器裏面のバッテリー・ボックス・カバーを矢印方向に押し、カバーを取り外します。
 - 2 バッテリー/充電式バッテリー(9Vブロック型電池)を挿入します。極性に注意してください。
 - 3 バッテリー・ボックスのカバーを元の位置に戻し、矢印と反対方向に押し、カバーを取り付けます。
- 計測器の電源が自動的に入ります。

5. 操作

この章では、計測時に頻繁に行う各種の操作について説明します。

5.1 プローブの接続

プラグイン方式のプローブ

プラグイン方式の温湿度プローブ・ヘッドは、必ず電源を入れる前に接続してください。電源投入後に接続すると温度計がプローブ・ヘッドを認識できません。

- 1 温湿度プローブ・ヘッドをプローブ・ソケットに接続します。

無線プローブ


■ 無線モジュール/無線プローブは、型式認定を取得した国においてのみ、使用が可能です。（日本国内では使用できません。）

無線プローブを使用する場合は、無線モジュール（アクセサリ）が必要です。無線モジュールは、必ず電源を入れる前に装填してください。電源投入後に装填すると計測器が無線モジュールを認識できません。


無線グローブにはプローブ ID（識別番号）が必要です。この ID は、機器設定モードで設定、割り当てます。（詳細は、次ページの「5.4 設定操作」を参照ください）

5.2 電源のオン/オフ

電源オン

- 1  ボタンを押します。
- 計測値表示画面が表示されます。
現在の計測値が表示されるか、計測値がない場合は、「-----」が点灯します。

電源オフ

- 1 ディスプレイが消えるまで  ボタンを押し続けます。（約2秒間）


5.3 ディスプレイ・ライトのオン/オフ


ディスプレイ・ライトのオン/オフ切り替え


- 1 計測器の電源が入っている状態の時、 ボタンを押します。

5.4 設定操作

機器設定モードのオープン




- 1 計測器の電源を入れ、計測値表示画面にします。
「Hold(ホールド)」、「Max(最大)」、「Min(最小)」は起動しないでください。
- 2 ディスプレイ表示が変わるまで、 ボタンを押し続けます。
(約2秒間)
- これで計測器は機器設定モードになります。

f  ボタンを押していくと、機器設定モードの機能が次々と変わっていきます。

 ボタンを押し続けると(約2秒間)、計測値表示画面に変わり、機器設定モードから抜け出せます。機器設定モードで加えた変更は、そのまま保存されます。

5.4.1 湿度調整の実行

f 接続している湿度プローブの2点調整(計測器11.3%RHと75.3%RH)が行えます。


- 1 機器設定モードを開き、「CAL」を選択、点灯させます。
- 2  /  ボタンを押してオプションを選択し、 ボタンで確定します。




・「oFF」: 湿度調整を行いません。

・「on」: 湿度調整を行います。

「oFF」を選択した場合: 5.4.2の「無線プローブの登録」に進みます。

「on」を選択した場合: 次の「3」に進みます。

- 現在の湿度計測値と調整ポイント(基準値)がディスプレイに表示されます。
- 3 調整ポイント(基準値)の湿度調整ポット中に湿度プローブを挿入して、計測値が安定するまで待ちます。
- 4  ボタンを押して、湿度調整の確定メニューをスタートさせます。

- 5  /  ボタンを押してオプションを選択し、 ボタンで確定します。
- ・「no」: この調整ポイントでは調整を行いません。
 - ・「YES」: 湿度調整を確定します。
- 「no」を選択した場合: ステップ6に進みます。
「YES」を選択した場合: 調整が行われます。
- 6 2番目の調整ポイントの調整を行う場合は、ステップ3～5を繰り返します。
- 調整が完了すると、計測器は次の設定機能に移動します。




5.4.2 無線プローブの登録




- i** 無線プローブの設定機能が利用可能になるのは、無線モジュール(アクセサリ)が温度計に装填されている時だけです。(6 ページの「4. 計測器の準備」を参照)

無線モジュールが挿入されていない場合: 5.4.3の「自動オフの設定」に進みます。



- i** 無線モジュール/無線プローブは、型式認定を取得した国においてのみ、使用が可能です。(日本国内では使用できません。)

無線プローブはそれぞれプローブID(RF ID)を持っています。このIDは、製品シリアル番号の末尾3の数字、および無線プローブのスライド・スイッチの位置(HあるいはL)で構成されます。

- 1 機器設定モードで、 を選択、「Auto」を点灯させます。
 - 2 無線プローブの電源を入れ、転送速度を毎秒2計測値に設定します。(無線プローブの説明書を参照)
 - 3  ボタンでオプションを選択し、 ボタンで確定します。
 - ・「YES」: プローブ自動検出機能がオンになります。(推奨)
 - ・「no」: プローブ自動検出機能がオフになります。

「no」を選択した場合: 次の「4」に進みます。
「YES」を選択した場合: 次の「5」に進みます。
 - 4  /  ボタンを使用してプローブIDをマニュアルで設定し、 ボタンで確定します。
- 5.4.3の「自動オフの設定」に進みます。

- 5 プローブ自動検出がスタートします。
- 無線プローブを発見すると、プローブIDが表示されます。
プローブが検出されない場合は、「NONE」が点灯します。
- 複数の無線プローブに電源を入れた場合:




- 必要に応じて、 /  ボタンを押して、必要なプローブを選択します。

プローブが検出されない原因




- ・ 無線プローブの電源が入っていない、あるいは無線プローブのバッテリーが空。
 - ・ 無線プローブの計測範囲が温度計の計測範囲を超えている。
 - ・ 干渉により無線電波が妨害されている。(例: 送信機と受信機の間鉄筋コンクリート、金属、壁、その他の障壁がある、同じ周波数の送信機がある、強い電磁界がある、等)
- 必要に応じて、無線電波を妨害している原因を取り除き、機器設定モードを再スタートさせます。

- 4  ボタンを押して、次の設定機能に移動します。




5.4.3 自動オフの設定

- 1 機器設定モードで、「Auto Off」を選択、点灯させます。
- 2  /  ボタンでオプションを選択し、 ボタンで確定します。
 - ・「On」: ボタンが何も押されない状態が10分間続くと、温度計の電源が自動的に切れます。例外は、ディスプレイ上にホールドされた計測値が表示されている(「Hold」が点灯している)ときです。
 - ・「OFF」: 温度計の電源は、自動的にには切れません。

5.4.4 計測単位の設定

- 1 機器設定モードで、「UNIT」を選択、点灯させます。
- 2  /  ボタンで計測単位を選択し、 ボタンで確定します。

5.4.5 リセット

- 1 機器設定モードで「Reset」を選択、点灯させます。
 - 2  /  ボタンでオプションを選択し、 ボタンで確定します。
 - ・「no」: 計測器はリセットされません。
 - ・「YES」: 計測器はリセットされます。計測器は工場設定値に再設定されます。
- 計測器は計測値表示画面に戻ります。



6. 計測

この章では、計測器の計測手順と方法について説明します。


計測の実行

- 1 計測器の電源を入れ、計測値表示画面にします。
- 2 プローブを計測箇所配置し、計測値を読み取ります。

計測チャンネルの表示変更



- プローブ・ソケットに接続した温湿度プローブ・ヘッドと無線プローブの計測表示を切り替えたいときは、 ボタンを押します。
- 相対湿度(%)、露点(°C)、湿球温度(wetbulb)の計測値表示を切り替えたいときは、 ボタンを押します。
(露点および湿球温度の値は、相対湿度と気温から演算により求めた値です)

計測値のホールド、最高値/最低値の表示

- 現在の計測値をホールドしたり、(電源投入後からの)最高値や最低値を表示できます。
-  ボタンを押す度に下記の順序で表示が切り替わります。
 - ・Hold: 計測値のホールド
 - ・Max: 最高値
 - ・Min: 最低値
 - ・現在の計測値

最高値/最低値のリセット

全チャンネルの最高値/最低値を現在の計測値でリセットできます。

- 1 「Max」あるいは「Min」が点灯するまで、 ボタンを数回押します。
 - 2  ボタンを押し続けます。(約2秒間)
- すべての最高値/最低値が現在の計測値でリセットされます。

7. メンテナンス

この章では、温度計の機能を維持し、常に良好な状態でお使いいただくためのメンテナンス方法について説明します。

ハウジングのクリーニング




ハウジングが汚れた場合は、石鹼水で湿らした布で拭いてください。強力な洗剤または溶剤は使用しないでください。

バッテリー/充電式バッテリーの交換

- 1 温度計の電源を切ります。
- 2 温度計裏面のバッテリー・ボックス・カバーを矢印方向に押し、カバーを取り外します。
- 3 古いバッテリー/充電式バッテリーを取り去り、新しいバッテリー/充電式バッテリー (9V ブロック型) を挿入します。
バッテリーの極性に注意してください。
- 4 バッテリー・ボックスのカバーを取り付け、矢印と反対方向に押し、バッテリー・ボックスを閉じます。

8. トラブルシューティング

この章では、よくある質問とその答えを掲載します。トラブルが発生したときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。

エラー状態	考えられる原因	対策
 が点灯(ディスプレイ下部)  が点灯  の上)	<ul style="list-style-type: none"> 計測器のバッテリーが空。 無線プローブのバッテリーが空。 	<ul style="list-style-type: none"> 計測器のバッテリーを交換してください。 無線プローブのバッテリーを交換してください。
電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 自動オフ機能がオンになっている。 バッテリー残容量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動オフ機能をオフに設定してください。 バッテリーを交換してください。
「----」が表示された。	<ul style="list-style-type: none"> プローブ・ヘッドが接続されていない。 プローブが壊れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 計測器の電源を切り、プローブを接続し、再度電源を入れてください。 お買上げの販売店またはテストサービスセンターへご連絡ください。
「uuuuu」が表示された。	計測範囲の下限を超えている。	計測範囲を守り、計測してください。
「00000」が表示された。	計測範囲の上限を超えている。	計測範囲を守り、計測してください。
「No Signal」が表示された。	登録済みプローブが見つからない。	無線プローブを再度登録してください。(9ページの「無線プローブの登録」を参照)
表示の切替わりが遅い。	本体の周囲温度が低すぎる。	周囲温度を上げてください。

上記の対策を実施しても問題が解決しない場合、あるいはここに記述されていない問題が発生した場合は、お買上げの販売店またはテストサービスセンターへご連絡ください。

9. テクニカル・データ

項目	データ
計測項目	相対湿度(%RH)、温度(°C)
演算項目	露点(°Ctd) 湿球温度(wetbulb °C)
計測範囲	testo湿度センサ(静電容量式): 0~+100%RH NTC温度センサ: -10~+60°C Type K (NiCr-Ni)プローブ(無線プローブ): -200~+1370°C
分解能	0.1%RH 0.1°C
精度	testo湿度センサ(静電容量式): ±2.5%RH(+5.0~+95.0%RH) NTC温度センサ: ±0.5°C Type K (NiCr-Ni)プローブ(無線プローブ): プローブにより可変
プローブ	湿度モジュール用ソケット 無線モジュール(アクセサリ)
計測速度	2回/秒
動作温度	-20~+50°C
保管温度	-40~+85°C
電源	1×9V ブロック型電池/充電電池
バッテリー寿命	約70時間
保護クラス	TopSafe プロテクタ(別売アクセサリ)装着および プローブ接続時: IP 65
EC 指令	89/336/ECC
保証	2年間

10. アクセサリ/スペア・パーツ

製品名	製品型番
無線モジュール¹	
無線モジュール(日本国内用)	XXXX XXXX
無線プローブ¹	
無線浸漬/芯温プローブ、NTC(日本国内用)	XXXX XXXX
汎用無線ハンドル¹	
プラグイン・プローブヘッド用無線ハンドル、 熱電対用アダプタ付き(日本国内用)	XXXX XXXX
汎用無線ハンドル	
熱電対用アダプタ、無線ハンドルにTC(熱電対) プローブを接続するためのアダプタ	0554 0222
エア/浸漬チップ付きTC(熱電対)プローブヘッド、 (無線ハンドルにプラグイン)	0602 0293
湿度/温度プローブ	
testo625および無線ハンドル用プラグイン湿度プローブヘッド	0636 9725
プラグイン湿度プローブヘッド用ハンドル付きケーブル、 ケーブル長 約1m	0430 9725
その他	
TopSafeプロテクタ(testo625用)、衝撃、塵埃などから 計測器を保護	0516 0221

¹：無線モジュール/無線プローブは、型式認定を取得した国においてのみ、使用が可能です。
日本国内で使用可能な電波法型式認定品の無線モジュール/無線プローブの販売開始時期は未定です。

アクセサリ/スペア・パーツに関するより詳細な情報は、製品カタログあるいはテスト社のホームページをご覧ください。

【保証規定】

本保証書は、通常のご使用において万一故障が発生し、それが製品製造上のものに起因する場合に、表記の保証期間内は当社にて無償で修理をすることをお約束するものです。

但し、保証期間内でも次のような場合には、有償修理となります。

- ◆ 取扱説明書、カタログ等に記載の環境条件を超えて使用されたことによる故障や不具合
- ◆ 取扱いの過誤により生じた故障
- ◆ お買上げ後の輸送・落下・衝撃等による故障及び損傷
- ◆ 計測精度の径時変化や電池寿命等の使用状況に大きく左右される事項で製品製造上の欠陥と証明できない不具合や故障
- ◆ 電池等の消耗部品の交換
- ◆ 当社サービスセンター以外で行なわれた修理・改造・分解掃除等による故障（取扱説明書に記載されている分解や消耗品交換は除く）
- ◆ 不具合の原因が本製品以外に起因する故障
- ◆ 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障及び損傷
- ◆ 修理をご依頼される際に、保証書を提示いただけない場合。

修理のご依頼時には、必ず製品にこの保証書を添付の上、不具合内容を明記してお買上げの販売店または当社営業所にご送付ください。なお、送料は送付元負担とさせていただきます。

修理は、製品の分解または部品の交換若しくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂くことがあります。

本製品の故障に起因する付随的損害については補償いたしかねます。

本保証書は、以上の保証書規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証履行者 **株式会社テストー**

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル



保証書

本保証書は、本記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。使用説明書、取扱上の注意事項等に示した正常なご使用状態で万一故障した場合は、本保証書を添付の上、修理をご依頼ください。

*修理のご依頼時には、製品に本書を添付の上、不具合内容を明記して、お買上げの販売店またはサービスセンターにご送付ください。
なお、送料は送付元負担とさせていただきます。

*この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

品名	testo 625	検印
型番	0563.6251	
シリアル番号		
保証期間	本体：2年	

販売店(店名、電話番号、住所)

(販売日： 年 月 日)

株式会社 テストー

■ 本社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター(修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277

ホームページ <http://www.testo.com> e-mail info@testo.co.jp